

## 令和7年度 第1回西区教育会議 議事要旨

### 1 日時

令和7年10月3日19時00分～20時20分

### 2 場所

西区役所4階402会議室

### 3 出席者

(委員)

野島 議長・服部 副議長・川村 委員・北川 委員・竹川 委員・田中 委員・田原 委員  
・辻本 委員・橋本 委員・宮地 委員

(学校)

田中 西中学校長・伊藤 九条南小学校長

(区役所)

三村 西区担当教育次長・中野下 西区担当教育部長・川楠 西区教育担当課長

・藤本 西区教育担当課長代理・村上 教育政策課担当係長・小林 教育政策課係員

### 4 議題

(1) 令和7年度 西区の教育関連施策について

(2) 令和7年度 企業連携の取組について

(3) 九条地域の今後の学校再編について

(4) その他

### 5 配布資料

・次第

・教育会議委員名簿

・西区教育会議開催要綱

・傍聴要領

・令和7年度 第1回西区教育会議 資料

・別紙：「つながる・つなぐ」子ども支援事業について

・第5回西区ほっこりカフェチラシ

## 6 議事要旨

### 区役所からの説明

#### (1) 令和7年度 西区の教育関連施策について

(野島 議長)

- ・スクールカウンセラー事業や大阪市こどもサポートネットの予算額について、毎年上がっていったように思う。子どもたちの悩みなどが増えていったと思うので何とか取り除いていただきたい。

(三村 教育担当次長)

- ・必ずしも悩んでいる子供が増えているわけではなく、一人ひとりに寄り添うことが重要視されていたり、教職員のサポートという意味合いもある。また人件費単価が上昇している関係もあり、昨年度よりも予算額が増えているのが現状である。

(竹川 委員)

- ・区として支援していることはあるのか。

(川楠 課長)

- ・教育委員会が設置しているスペシャルサポートルームとは別に、「ぷあぷ」という学校内居場所の設置をモデル実施しており、今後も各学校と連携しながら拡充を検討しているところである。

#### (2) 令和7年度 企業連携の取組について

- ・委員からの意見は特になし

#### (3) 九条地域の今後の学校再編について

(伊藤 校長)

- ・九条南小学校の工事について、資料によると令和8から10年まで工事となっているが、実際は旧講堂の解体などもあり、令和11年度の1学期中は資材置き場として、運動場の一部が使えない可能性がある。資料の表では、令和10年度末までという風に見えるが、実際には翌年度にも影響が出る場合があるのでご認識いただきたい。

(竹川 委員)

- ・校舎などの増築工事を行うとのことであるが、児童・生徒数推計の増減を見たところ、児童数自体は大きな増減はないということか。

(川楠 課長)

- ・校舎の増築工事に関しては、資料でお示ししている推計とは別の施設整備の推計を基にしていると教育委員会事務局より聞いている。また児童数だけでなく老朽化などの問題もあったので、学校再編を契機とし、講堂や校舎の増改築などを実施していく予定である。

(伊藤 校長)

- ・九条南小学校の実情として、学級教室は確保できているが、特別支援学級数に応じた教室数を確保できていない現状もある。以上に加え、学校選択制や学校再編も加味したうえでの今回の工事が実施されることとなった。

(野島 議長)

- ・九条地域の学校再編について、当該地域関係者等との調整は進んでいるのか。

(川楠 課長)

- ・各地域でご意見があることは承知している。適正配置検討会議や各学校協議会の場合など、議題に上がっていない場合でも、ご意見がある場合はお聞かせいただければと考えている。

(4) その他

(服部 副議長)

- ・9月27日開催のほっこりカフェについて、チラシの配布や配架は行っていたのか。

(川楠 課長)

- ・回次によっては学校へのチラシの配布などの協力も要請しながら周知を行っている。

(伊藤 校長)

- ・当初はチラシの配布なども実施したが、教員の負担や対象者の選定など課題が見られたため、現在は区役所にて開設したホームページ「西区不登校支援ナビ」の二次元コードを学校やカウンセリングルームの入り口など、対象の保護者が見る可能性のある場所に掲示している。

(田中 校長)

- ・西中学校では、このような取組があることを知ってもらう意味も含め、「ミマモルメ」での一斉配信を行っている。より多くの人に取組自体を知らせることが大事だと思い、このような形で協力をしている。

(川楠 課長)

- ・不登校支援ナビでは、募集受付の情報や区役所から募集開始のメールが届くようにする登録フォームのリンクのほか、西区として取り組んでいる不登校支援の紹介を掲載している。  
また、今回のほっこりカフェ参加者6名のうち2名から新たにメールアドレスの登録もいただいております、少しずつ登録者も増えている。

(竹川 委員)

- ・不登校の保護者が学校に来る機会はあるのか。

(伊藤 校長)

- ・保護者や家庭によってそれぞれである。ほっこりカフェに関しても、「ぜひ紹介してほしい」という家庭もあればそうでない家庭もあるため、アプローチの判断が難しい場合もある。

(田中 委員)

- ・現在西区の児童生徒数が訳 7,000 人ほどであるが、不登校の割合はどれほどなのか。

(川楠 課長)

- ・児童では約 5,000 人のうち約 1.7%の 85 名、生徒では約 1,700 人のうち約 11%の 194 人が不登校であると把握している。小学校から中学校に進学することで不登校率が上がっており、西区の課題であると考えている。

(川村 委員)

- ・西区内でも人口に偏りが見られることが、個人的には課題なのではないかと思う。
- ・外国人の子どもが増えており、現場の教員も対応に追われているようで心配である。
- ・九条東小学校の跡地の活用については、現在議論されているところと認識しているが、元堀江中学校の跡地についてはどのようなになるのか。

(川楠 課長)

- ・元堀江中学校については、九条東小学校とは取り扱いが違うため、教育員会事務局が主体的に活用を検討している。  
現在は教育委員会事務局の事務所が入っているが、西区教育担当には今後の活用についての情報は入っていないため、当面は現状維持であると考えている。